

トップニュース



法要に先立って、「いのちの正信偈をつとめた。ちの尊さ」「非戦・平和の大切さ」をテーマにした宗門関係学校生徒作文で最優秀作文に選ばれた安田悠真さん(福岡・敬愛中2年)と大江美咲さん(広島・崇徳高2年)が自ら作文(2面に全文掲載)を朗読。池田行信総長が2人に表彰状と記念品を贈った。続いて布教使の西原祐治さんが法話を行った。

午後1時30分から、「平和の鐘」を安田さんと大江さんの2人が撞き、これに合わせて導師・結衆・奏衆員などが座禅。築地本願寺の中尾史峰宗務長を導師に

宗派は、世界中の全の戦争犠牲者を追悼し、悲惨な戦争を繰り返してはならないという平和への決意を新たにすると第43回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要を9月18日、東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で営んだ。新型コロナウイルスの影響で、参拝者を制限してきたが、今年は4年ぶりに一般に参拝を募った。僧侶や門信徒、国会議員ら約400人が参拝し、平和への思いをあらたにした。(2・8面に関連記事)

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要営む



宗派は、宗門が一体となって平和への思いを新たにすため、全国の寺院などに「平和の鐘」と同時刻午後1時30分に鐘(梵鐘や喚鐘など)を撞くことを呼びかけた。

本山では、周辺学区の自治連合会の5人の会長と三好慶祐総務、尾井貴重執行が鐘を撞いだ(写真)。

本山でも同時刻に

千鳥ヶ淵参拝に参拝に来た。午後1時30分、千鳥ヶ淵参拝に参拝に来た。午後1時30分、千鳥ヶ淵参拝に参拝に来た。

伝灯奉告法要、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の公式記録に携わり、2018年からは姉妹誌・月刊「大乘」の表紙写真を担当するプロカメラマン・逢坂憲吾さん。5月には、5年にわたり撮り重ねた本願寺の風景を1冊にまとめた『西本願寺の風景』が発売された。そこに掲載される写真の一部を逢坂さんの解説で紹介していく。

唐門の孔雀

初めまして。5月に発刊いただきました風景写真集『西本願寺の風景』作者の逢坂憲吾と申します。京都在住、広告撮影を主に行っております。

月1回のペースで、この写真集に掲載された写真について解説めいたことを連載させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

第1回は「唐門」です。別名「日暮らし門」。2021年9月に修復が完了し、彩りのある美しい姿へと戻りました。修復は40年ぶりの



西本願寺の風景

本願寺出版社刊 1650 円(税込)

逢坂憲吾さんが約5年にわたり撮り重ねた本願寺の風景をまとめた写真集。お求めは本願寺出版社注文専用フリーダイヤル0120-464583。

逢坂憲吾の
四季折々に
境内を歩いて

ことでしたが、彩色あふれる唐門を拝見するのは初めてでしたので、こんなにも煌びやかなものだったのかと驚きました。

今回掲載された写真は、修復の大詰め時期に撮影した唐門内設置の孔雀像です(別角度で撮影した写真が「大乘」2021年6月号の表紙写真として採用されました)。この孔雀像は唐門の南面、最奥上部に設置されています。一瞥しただけでは見ることでできない位置に据えられております。ぜひ門に近づいて探してみてください。

なお、この唐門ですが、本願寺の境内の南側にあり、外側は道路に面しているため、いつでも拝見可能。そして誰もが撮影できるという大変珍しいタイプの国宝です。ぜひ足を運んでいただき、どこにどんな細工が施されているのかを日が暮れるまでじっくり楽しんでいただきたいと思います。



使用機材 GF5X50S GF45-100mmF4 R LM OIS WR
撮影データ f5.6 SS1/100 ISO200 ※2021年5月6日撮影

本願寺新報

hongwanji journal

10月10日(火曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

寺院会計・幼稚園会計・保育園会計・税務・相続対策
◆宗派顧問税理士のゆびすいにお任せください◆
ゆびすいグループ 税理士法人ゆびすい
グループ拠点▶東・大阪・東京・仙台・名古屋・京都・岡山・広島・福岡
YUBISUI ☎ 0120-067-149
文化庁主催『宗教法人実務研修会』の担当講師
http://www.yubisui.co.jp ゆびすい 公益 検索

新しい「領解文」
(浄土真宗のみ教え)

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう といったいて
この愚身をまかす このままで
救い取られる 自然の浄土
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法灯を伝承された 歴代宗主の
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり
少しずつ 執われの心を 離れます
生かされていることに 感謝して
むさばり いかにに 流されず
穏やかな顔と 優しい言葉
喜びも 悲しみも 分かち合い
日々に 精一杯 つとめます

赤光 白光
米どころのふるさと富山では、10月に入ると食卓に新米が上がる。そして報恩講がつとまる。思えば亡き父から、この時期につとめられる「在家報恩講」の大切さを何度も聞かされた。ふるさとの村では門徒全戸が丁寧に行う。
▼この在家報恩講が25年前、伝道誌「御堂さん」10月号の特集で取り上げられた。その中で、明治生まれの大田ひろさんが「こんな、どんなもならんわがママ婆あを引き受けて必ず救うとおっしゃるんやから、せめて万分之一でもご恩報謝させてもらわにゃあ。乱れきた今の社会で不足しているのは、ただ掌を合やすこと。そして同じ方、仏さまの方へ向くこと。みんな自分本位の勝手な方に向いどるから対立したり争ったりするんではないか」と語っていた。
▼さらに大田さんは、人と人の接し方の向きには3つあると続ける。「互いに背を向けていたら、相手の気持ちがわからないし、自分もわからなくなる。互いに向き合って話すのもいいが、同じ家族で考え方も違ふし、我を張りおうて言い争いもする。仏さまの方へ向いどたら、それぞれ思いの違ふ者同士が一つになれる。お慈悲さんの中ではみんな兄弟、これが在家報恩講のころではないがけ」。
▼お念仏に出遇う慶びを伝えてくださった親鸞聖人に感謝する報恩講。先に亡くなった方々の思いや願いをいいただきながら、阿弥陀さまに掌を合わせ、お浄土で仏と成るといふ人生を送る身にお育てくださったご恩を大切に味わわせていただきたいと思います。

京ゆば
湯葉弥

京・五条御前東 電話〇七五—三一四—五七八八
http://www.yubaya.co.jp

旬の味覚にひとひらそえて。

修理などについても
お問い合わせ下さい



創業元禄初年

大笹屋

京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6
TEL 075-751-6889
FAX 075-751-7304
E-mail:m@ozasaya.com

雅楽用打ち物・経切太鼓
その他宗教用太鼓一式製造元

施設管理は、
オリックスファシリティーズ株式会社

本店 〒600-8385
京都府京都市下京区大宮通仏光寺下五坊大宮町9-9
TEL 075-8411-7550(代表)
FAX 075-8411-7666



〒600-8349 京都市下京区堀川通西本願寺前
電話(075)371-0162

加羅・沈香・線香・匂い袋
香老舗 創業文禄三年(1594年)
薫玉堂

数内流の茶道精神
正直 清浄
礼和 質朴
すなはなる 心をうつすわざなれば
手つきまがらず すなおなるべし

茶道 数内家燕庵
家元 京都市下京区西洞院正面下ル ☎(075)343-0215
数内家燕庵HP http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

漫画 親鸞さま
作 岡橋徹栄
画 広中達次
A5判/228頁
1100円(税込)
00円(税別)
難しい本や史料が
苦手な方でも、
親鸞聖人の生涯、
その苦勞と偉大さを
漫画で読める。

本願寺出版社
☎0120-464-583 ☎075-341-7753
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺)
https://hongwanji-shuppan.com/
発送梱包手数料別(税込3,000円以上は無料)